



2021年3月期 第3四半期

2021年2月5日

japan elevator service



ジャパンエレベーターサービスホールディングス株式会社

(東証一部：6544)

1

2021年3月期 第3四半期決算概要

2

2021年3月期 連結業績予想



2021年3月期 第3四半期決算概要

2021年3月期第3四半期決算概要(業績)

(百万円)

	2020年3月期 3Q		2021年3月期 3Q		前期比(%)
	実績	売上比(%)	実績	売上比(%)	
売上高	<u>15,732</u>	100.0	<u>17,230</u>	100.0	109.5
原価	9,968	63.4	10,478	60.8	105.1
売上総利益	5,764	36.6	6,752	39.2	117.1
販管費	3,794	24.1	4,174	24.2	110.0
営業利益	<u>1,969</u>	12.5	<u>2,577</u>	15.0	130.8
営業外収益	14	0.1	112	0.7	783.5
営業外費用	26	0.2	26	0.2	101.1
経常利益	<u>1,957</u>	12.4	<u>2,663</u>	15.5	136.0
特別利益	0	0.0	14	0.1	—
特別損失	1	0.0	4	0.0	254.4
税金等調整前四半期純利益	1,956	12.4	2,673	15.5	136.7
親会社株主に帰属する 四半期純利益	<u>1,201</u>	7.6	<u>1,712</u>	9.9	142.6

2021年3月期第3四半期決算概要(売上種類別)

(百万円)

	2020年3月期 3Q		2021年3月期 3Q		前期比(%)
	金額	構成比(%)	実績	構成比(%)	
保守・保全業務	11,126	70.7	12,657	73.5	113.8
リニューアル業務	4,085	26.0	4,021	23.3	98.4
その他	521	3.3	552	3.2	105.9
合計	<u>15,732</u>	100.0	<u>17,230</u>	100.0	109.5



2021年3月期 連結業績予想

2021年3月期連結業績予想

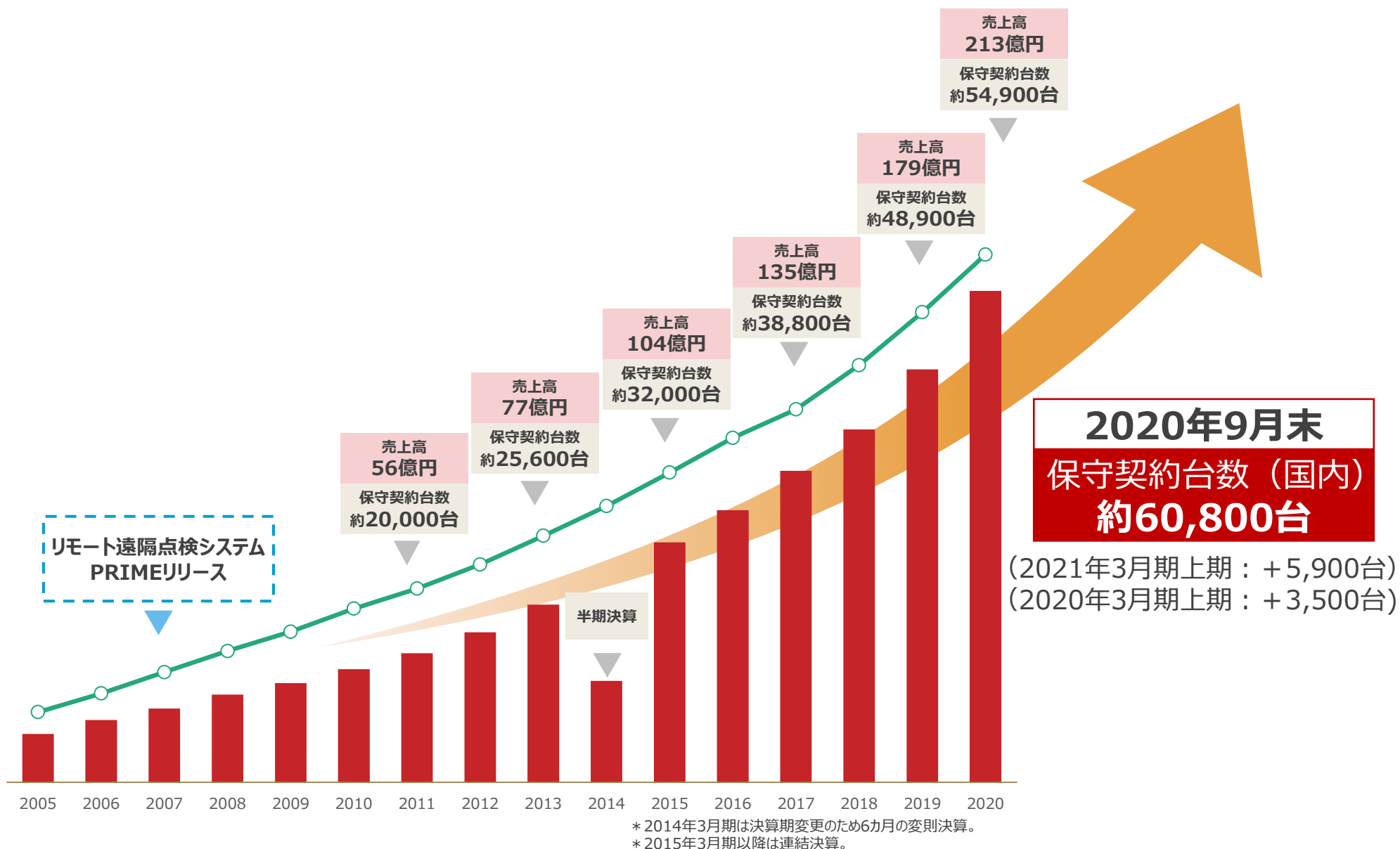
単 位 : 百 万 円 , %	上期				下期				通期			
	2020/3	2021/3 予想	2021/3 実績		2020/3	2021/3 当初予想	2021/3 修正予想		2020/3	2021/3 当初予想	2021/3 修正予想	
	金額	金額	金額	前年 同期比	金額	金額	金額	前年 同期比	金額	金額	金額	前期比
売上高	10,370	11,000	10,967	105.8	10,968	12,000	13,033	118.8	21,339	23,000	24,000	112.5
営業利益	1,210	1,350	1,617	133.6	1,507	1,750	1,933	128.2	2,717	3,100	3,550	130.6
経常利益	1,205	1,350	1,703	141.3	1,498	1,750	1,947	130.0	2,703	3,100	3,650	135.0
親会社株主に 帰属する 当期純利益	728	800	1,105	151.8	971	1,100	1,195	122.8	1,700	1,900	2,300	135.2
	売上比	売上比	売上比		売上比	売上比	売上比		売上比	売上比	売上比	
売上総利益率	36.3	37.1	39.0		37.0	37.8	37.8		36.6	37.5	38.4	
販売管理費率	24.6	24.8	24.3		23.2	23.3	23.0		23.9	24.0	23.6	
営業利益率	11.7	12.3	14.7		13.7	14.6	14.8		12.7	13.5	14.8	
経常利益率	11.6	12.3	15.5		13.7	14.6	14.9		12.7	13.5	15.2	
当期純利益率	7.0	7.3	10.1		8.9	9.2	9.2		8.0	8.3	9.6	

2021年3月期連結業績予想(売上種別)

単位：百万円，%	上期			下期			通期		
	2020/3期	2021/3期実績		2020/3期	2021/3期予想 (11月12日公表分)		2020/3期	2021/3期予想 (11月12日公表分)	
	金額	金額	前年同期比	金額	金額	前年同期比	金額	金額	前期比
保守・保全業務	7,320	8,240	112.6	7,710	9,060	117.5	15,030	17,300	115.1
リニューアル業務	2,710	2,344	86.5	2,889	3,655	126.5	5,599	6,000	107.1
その他	340	382	112.3	368	318	86.4	709	700	98.8
合計	10,370	10,967	105.8	10,968	13,033	118.8	21,339	24,000	112.5



参考資料



	2019/3月期	2020/3月期	2021/3月期	前期比
	実績	実績	予定	
年間配当額	13円 00銭	18円 00銭	22円00銭 (11円00銭)	+4円
期末配当額	11円 00銭	18円 00銭	22円00銭 (11円00銭)	+4円
記念配当額	2円 00銭	—	—	—
配当金総額	523 百万円	729 百万円	969百万円	+240百万円
配当性向（連結）	41.3%	42.8%	41.0%	△1.8 p
記念配当除く	34.9%	42.8%	41.0%	△1.8 p
純資産配当率（連結）	15.6%	16.1%	12.4%	△3.7 p

1：2の株式分割（2021年1月1日効力発生）

※ 株式分割（1：2）を考慮しない場合の配当額となります。分割後の配当額は（ ）で記載しております。

[参考]上期のトピックス = 好調な新規保守契約 =

保守契約台数

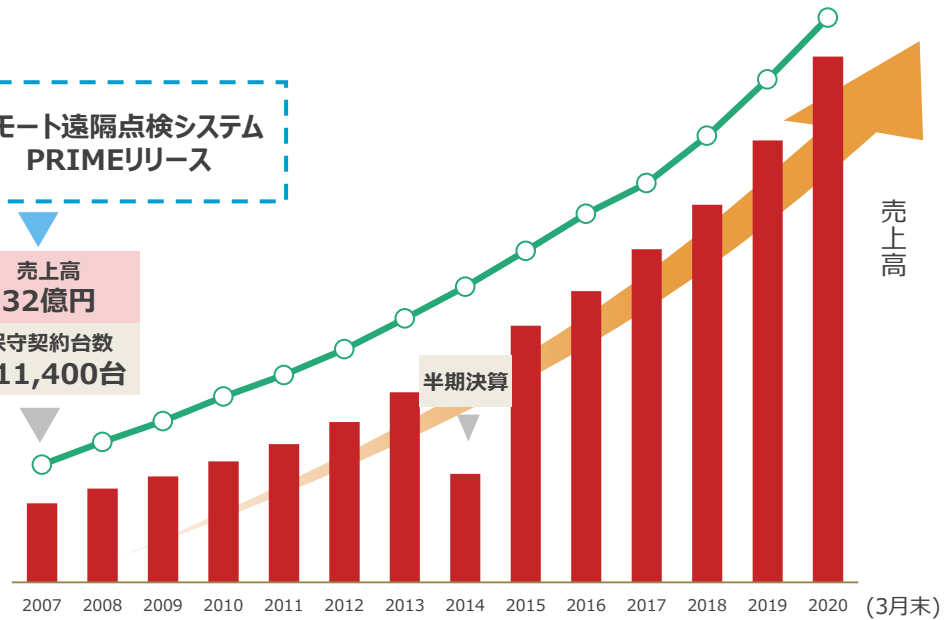
2020年9月末
保守契約台数 (国内)
約60,800台

(2021年3月期上期: +5,900台)
(2020年3月期上期: +3,500台)

リモート遠隔点検システム
PRIMEリリース

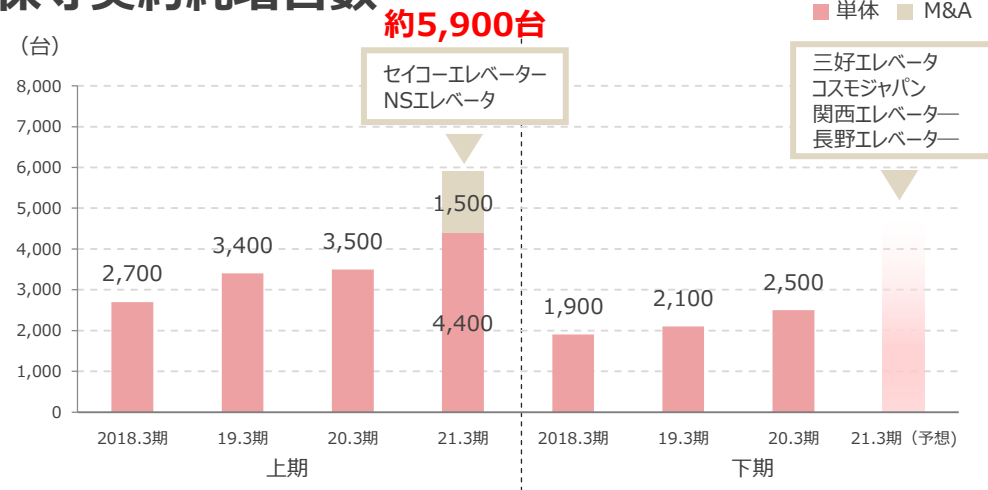
売上高
32億円
保守契約台数
約**11,400台**

売上高
213億円
保守契約台数
約**54,900台**



* 2014年3月期は決算期変更のため6カ月の変則決算。
* 2015年3月期以降は連結決算。

保守契約純増台数



友好的M&Aと拠点開設

<今期(2021年3月期)の独立系M&A実績>

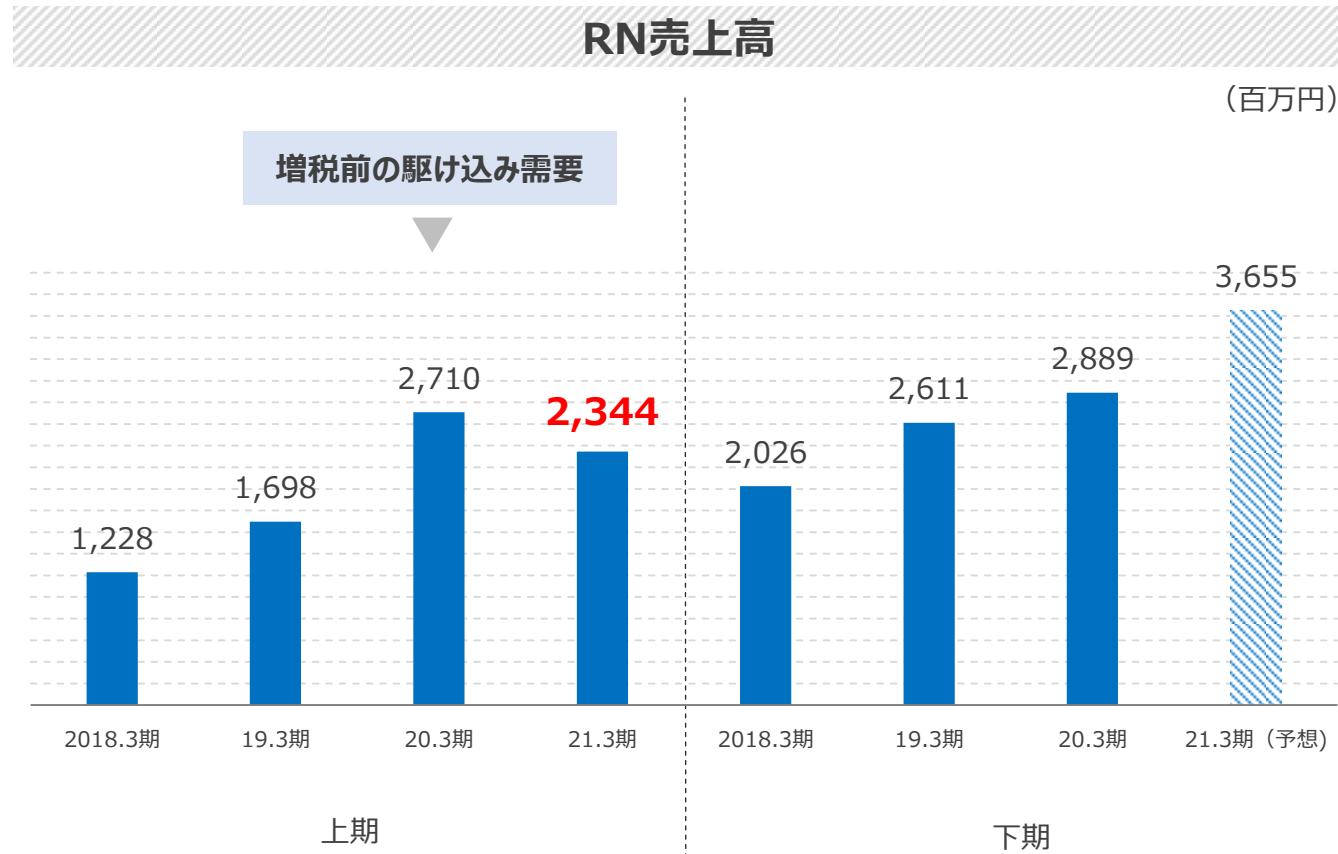
- 4月 セイコーエレベーター株式会社 1拠点(関東)
- 8月 株式会社NSIエレベーター 2拠点(関西)
- 10月 株式会社三好エレベーター 6拠点(中国、四国)
- 10月 株式会社コスモジャパン 5拠点(東北)
- 11月 株式会社関西エレベーター 1拠点(関西)
- 11月 株式会社長野エレベーター 1拠点(甲信越)

<今期(2021年3月期)の新規開設拠点(開所済み)>

- 4月 春日井営業所 (JES東海)
- 滋賀営業所 (JES関西)
- 12月 仙台支社 (JES城西)
- 株式会社コスモジャパンのM&Aを契機に東北地方への注力のため、支社を設置

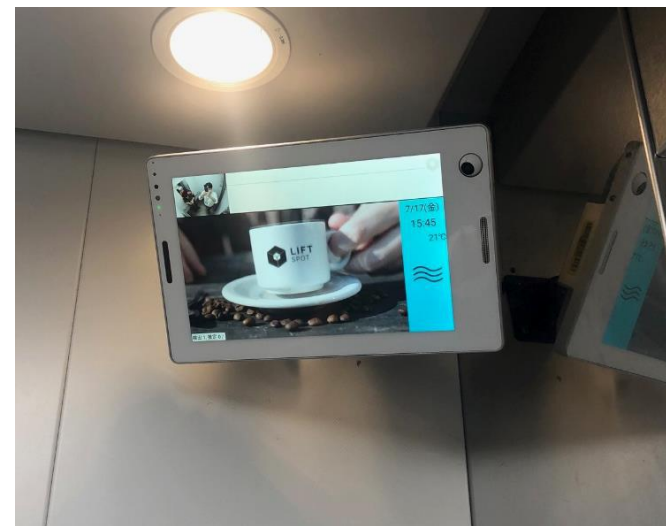
一括リニューアル

上期は、新型コロナウイルス感染症拡大による案件先送りと前年同期の増税前の駆け込みの反動により、上期実績は前年同期比減少したが、通期では前年実績を上回る見込み



設置台数の強化

- 当社の保守事業に付加価値を与えと共に
新たな収益源を育成する目的で「メディア事業」を2019年4月に立ちあげ
- 広告主への効果的なアプローチのため、設置台数の増強を図る
⇒ 早期に10,000台設置を目指す
- 2020年3月末目標設置台数である3,000台を達成
⇒ 2020年3月末時点の成約台数：約3,600台
⇒ 2020年9月末時点の成約台数：約5,300台



LiftSPOT設置イメージ

広告放映実績

※2020年11月10時点、LiftSPOT媒体資料より抜粋



株式会社INFORICH様



menu株式会社様



株式会社マウスコンピューター様



株式会社WOWOW様



松竹株式会社様
『一度死んでみた』製作委員会



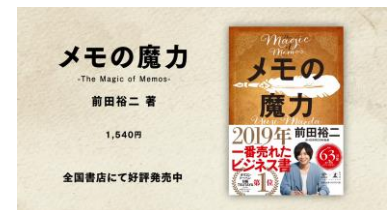
ギャガ株式会社様
『アイネクライネナハトムジーク』製作委員会



東宝株式会社様
『蜜蜂と遠雷』製作委員会



東宝株式会社様
『糸』製作委員会



株式会社幻冬舎様



株式会社幻冬舎様

JES Innovation Center Lab (JIL)

3階建て／約33mの高層テストタワー テスト用エレベーター6台

- 開発関連部署を移転し、研究開発機能の一層の向上
- 海外調達部品の性能検査能力を強化
- 「低コスト」「短期間」を実現した、JES独自のリニューアルサービス「Quick Renewal」の開発スピードアップが可能
- パーツセンターを一層拡大、故障対応力が強化できる体制

2020年10月2日竣工



敷地面積:2,673.64㎡
延床面積:3,525.78㎡
2020年10月2日 竣工
(埼玉県和光市)

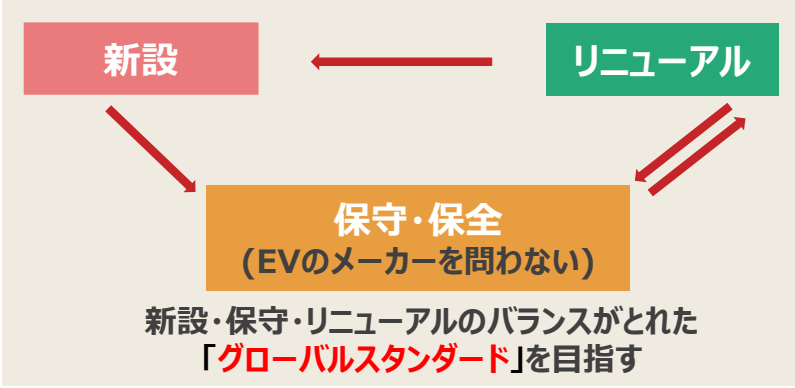
ご参考 : JES Innovation Center (JIC)

3階建て／約50mの高層テストタワー テスト用エレベーター4台

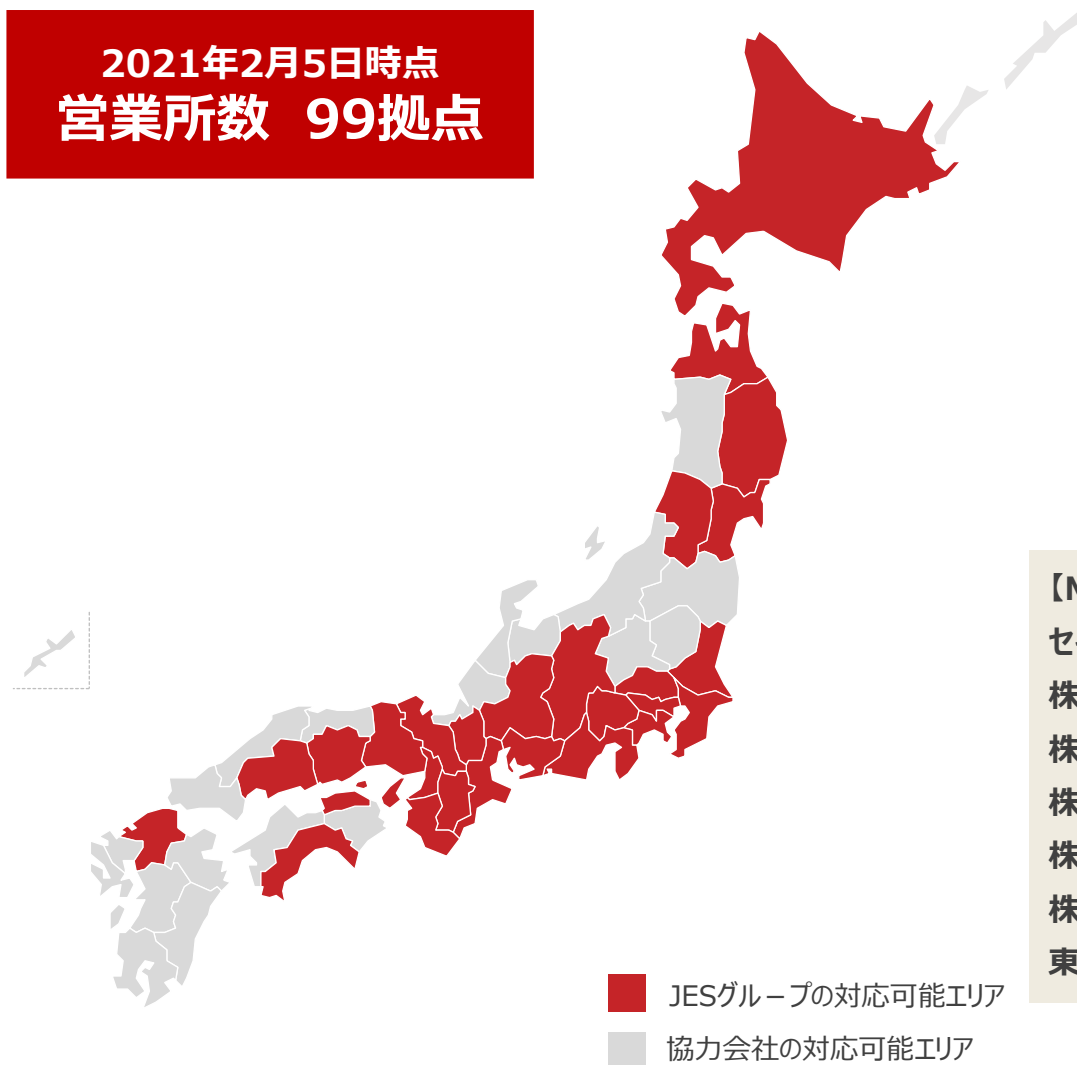
- 独立系では初となる高層テストタワーを設置
- 最先端の技術開発が可能となり、「PRIME」のレベルアップスピードが向上
- 実機研修の強化や一斉研修を通じ、当社独自の教育システムである「STEP24」のクオリティが向上
- リニューアル事業は生産台数を倍増できる体制
- コントロールセンターは非常用発電、太陽光発電、電源車による電力供給（81時間）が可能となり、更なるBCP（事業継続計画）強化を行い、大災害時にも耐える設備を実現



敷地面積:4,923.61㎡
延床面積:5,608.73㎡
2017年10月13日 竣工
(埼玉県和光市)

事業	国内		海外 (東南アジア中心)
	現在	中長期	現在～中長期
保守・保全	進出地域のシェアアップによる保守契約台数の着実な増強	メーカー系保守会社に匹敵する規模を目指す	現地のマーケットニーズ、市場調査等を行い、海外メーカーとの提携可否も含めて検討
リニューアル (RN)	<div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-right: 5px;">一括RN</div> <div style="font-size: 1em;">⇒</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-right: 5px;">市場拡大に応じて当社及び他社保守物件への対応強化</div> </div> <div style="display: flex; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; margin-right: 5px;">Quick RN (分割RN)</div> <div style="font-size: 1em;">⇒</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">対応可能機種数増加</div> </div>	顧客のニーズに合わせてきめ細かいRNサービスを提供	
新設	当面、国内での新設事業の計画無 (但しRNは実質的にはJES製のエレベーターの新設)		
新規 (メディア事業)	EVカゴ内でのメディア事業を立ち上げるとともに保守事業へのプラス効果も狙う (顔認識システムによるマーケティング支援機能も追加)		

2021年2月5日時点
営業所数 99拠点



JES 北海道	営業所数：9拠点
JES HD	営業所数：3拠点 (+1)
JES 城南	営業所数：16拠点
JES 城西	営業所数：15拠点(+1)
ジャパンエレベーターパーツ	営業所数：8拠点
JES 神奈川	営業所数：16拠点
JES 東海	営業所数：7拠点 (+1)
JES 関西	営業所数：7拠点 (+1)
JES 九州	営業所数：1拠点

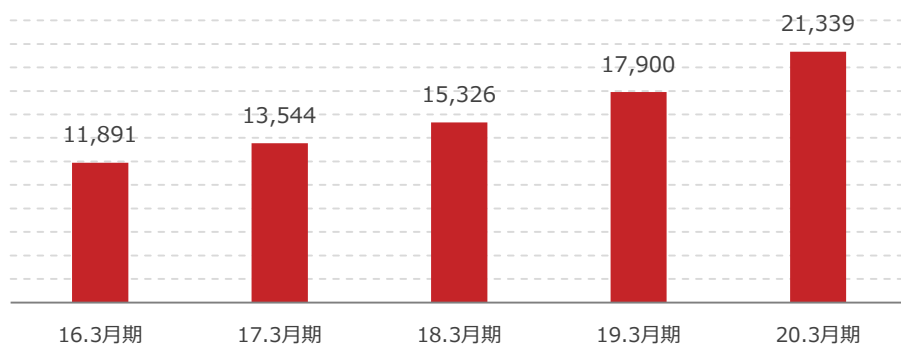
【M&A】

セイコーエレベーター株式会社	営業所数：1拠点 (+1)
株式会社NSエレベータ	営業所数：2拠点 (+2)
株式会社三好エレベータ	営業所数：6拠点 (+6)
株式会社コスモジャパン	営業所数：5拠点 (+5)
株式会社関西エレベーター	営業所数：1拠点 (+1)
株式会社長野エレベーター	営業所数：1拠点 (+1)
東京エレベーター株式会社	営業所数：1拠点 (+1)

() 2020年3月末からの増減数

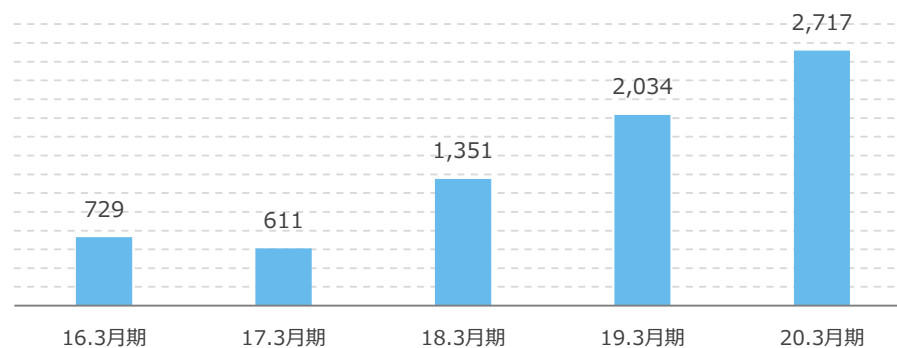
売上高

(百万円)



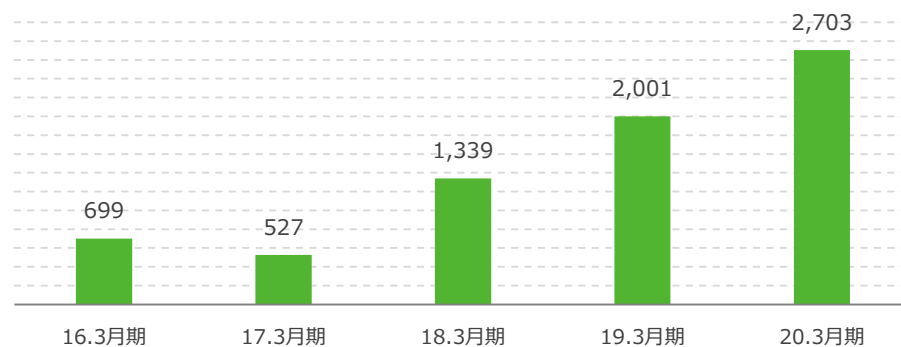
営業利益

(百万円)



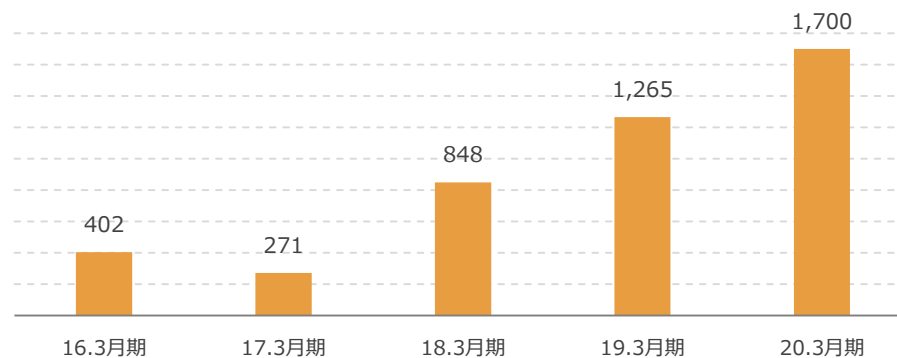
経常利益

(百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益

(百万円)

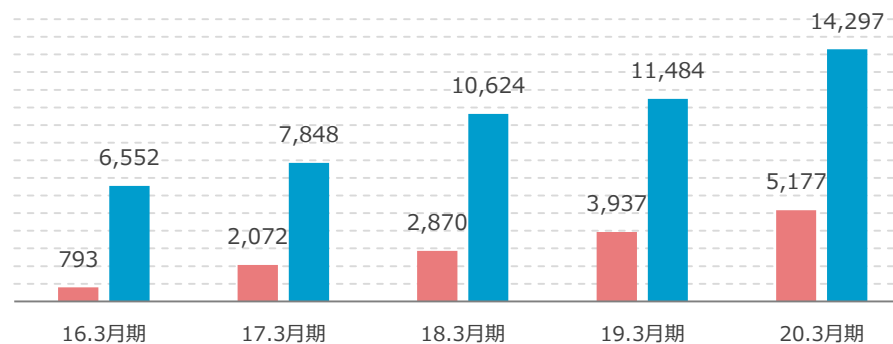


純資産額／総資産額

(百万円)

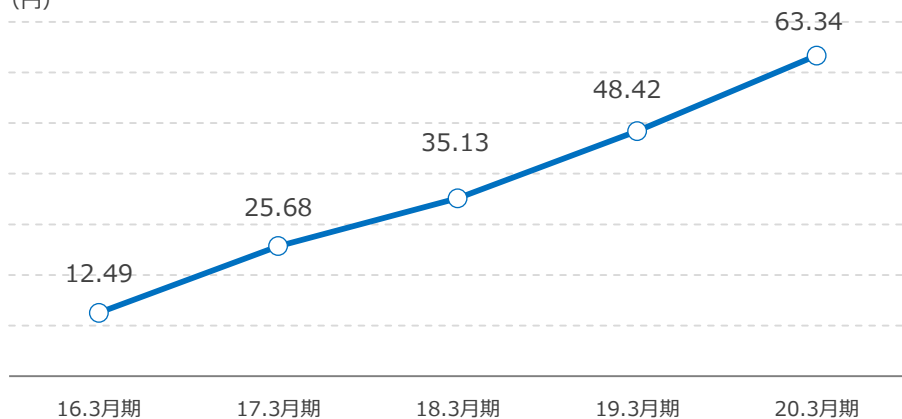
■ 純資産額

■ 総資産額



1株当たり純資産額

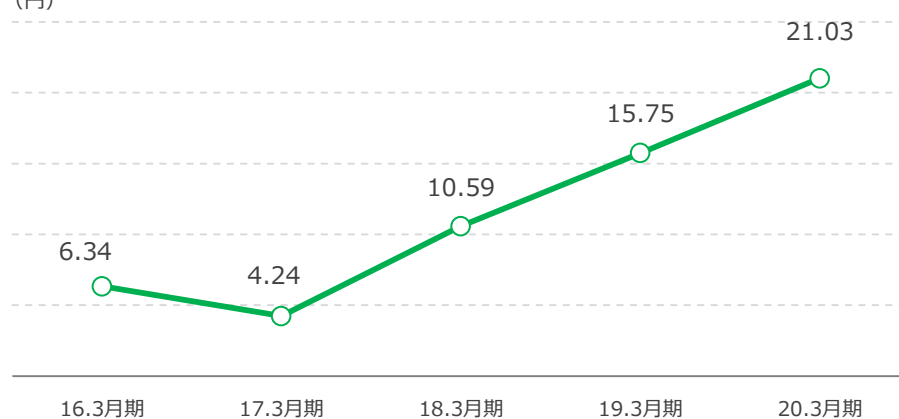
(円)



* 1 : 2の株式分割 (2021年1月1日効力発生)

1株当たり当期純利益金額

(円)



* 1 : 2の株式分割 (2021年1月1日効力発生)

免責事項

- この資料は皆様の参考に資するため、ジャパンエレベーターサービスホールディングス株式会社（以下、「当社」という。）の現状をご理解いただくことを目的として、当社が作成したものです。
- 当資料に記載された内容は、現在において一般的に認識されている経済・社会等の情勢および当社が合理的と判断した一定の前提に基づいて作成されておりますが、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

将来見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」（forward-looking statements）を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は、本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。